

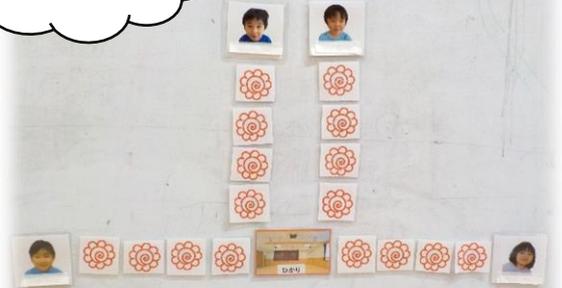


～おたのしみ～

時には活動スケジュールの苦手な項目に「やだなあ・・・」と消極的になることもあります。そんな時に少しがんばってみようと思えるように“ごほうび”として、おたのしみを設定しています。最近『ひかりの部屋であそぶこと！』をたのしみにみんなで取り組んでいます。

活動を最後までがんばったり、静かに話が聞けたりできると花マルカードが付きます。それが目標までたまると達成です！

おたのしみや花マルカードがあることで、やってみようという気持ちにつながっています。



編集長おすすりブログ

ホームページ



<https://momijinoie.okayamakodomokyoukai.jp/wp-admin/>

～ひかりの部屋であそんだよ～

重い台をどう運ぼうか…と考えた末、すべり台を利用して運んでいます。そして、一本橋が完成。ナイスアイデアです！満面の笑顔で友だちを誘い、渡っていました。



こちらは、フープをハンドルにして、バスごっこ。道具を使って楽しむ力がついています。



～こんなことしたよ～



シール貼り、塗り絵、はさみを使いました。シールをはがす→台紙に貼る→ごみを捨てる、という一連の動作を繰り返す中で手先の力を伸ばすことができます。シールを全部貼り、枠にピッタリ貼れると達成感が得られ「これができる！」という自信につながっています。

～6月予定～

7日(水) 避難訓練
10日(土) 親子療育



～7月予定～

8日(土) 親子療育
28日(金) 避難訓練

～おしらせ～

アイドリングストップについて
送迎時、車のアイドリングストップにご協力ください。

7月の土曜療育について
親子で支援グッズを作ります。その後、おたのしみでかき氷を準備しています。

のぞいてみよう もみじの家

～タイムタイマー使っています～

もみじの家では、活動の始まりと終わりが分かるように、タイムタイマーを使っています。時間を見える化(視覚化)することは、数字や時計がまだわからない子にも有効であり『赤色がなくなったら次のことが始まる(今の活動はおしまい)』という理解がしやすくなります。また、時間の感覚を獲得することにもつながります。例えば、「ちょっと待ってね」という言葉。誰もが日常何気なく使っている言葉ですが、曖昧な表現に『ちょっと』ってどれくらい?とわからない子もいます。先の見通しが持てない不安や次の活動への切り替えにくさがある場合、視覚的に見て分かることで見通しが持て、安心につながります。

ポイントは、『初めて使う際には、好きなことを終わらせる為に使わない』ということです。『音が鳴ったら、〇〇(好きなこと)ができなくなる』となってしまうと、タイマーを使うこと自体が嫌となってしまう可能性があるため、まずは『音が鳴ったら、次に楽しいことができる』という方法で取り組んでいくのが有効です。



もみじの家で使っているタイムタイマーです。赤い部分が残り時間を示し、0までくるとタイマーが鳴ります。その活動の終わりを示します。

～Best ショット～

